

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. D-76

部門名： 校内研修部門  
 エントリー名： 静岡県富士市立大淵第一小学校 小池治樹 (平成30年度第3回中堅教員研修)

活動名： 授業づくりは学校づくり！  
 ～学校教育目標具現化への戦略～

解決すべき課題：  
 (1) 児童の学校生活の中心となる「授業」が、個々の教員によって異なる授業観や学び方で実践されれば、学校教育目標が掲げる「目指す児童像」の具現化にはつながらない。  
 (2) 若手教員・講師が増えている現状を踏まえ、経験年数等の差を乗り越え、どの教員にとっても分かりやすい学びの環境、授業づくりに取り組める具体的な手立ての必要性がある。

目標・方針  
 学校組織マネジメントの視点から、学校教育目標と研修推進部の取組との関連を強化する。  
 (1) 研修主任として学校全体で共有する目指す授業のビジョンを示し、すべての児童に学校教育目標「学び合い 自らを高める 大淵の子」の具現化に必要な資質・能力を育成できる戦略を考える。  
 (2) SWOT 分析によって得られた本校独自の強みとなる学校内外の資源を最大限に活用して、課題解決に向けた取組を推進する。  
 本校の強み(人材資源・授業のユニバーサルデザイン研修・学校キャラクター「ふっちゃん」・教員の研修意欲)

活動内容：  
 以下の取組を、「チーム大淵」として教員・児童が共通の意識のもとで実践を進めていく。  
 (1) すべての児童の学び方を支える「大淵学びのスタンダード」を作成し、全校で共通理解する。児童が定着状況を自己評価する「ふっちゃん学び方検定」を年三回実施し、結果から改善策を検討する。(図1)  
 (2) 児童に求められる資質・能力(他者と協働・対話を通して自己の学びを深める力)を日々の授業の中で育成していく学習プロセスとして、「おおぶち学びのデザイン」を作成した。(日々の授業づくり、指導案づくり、研究授業の参観シートの視点、事後研修に活用)(図2)  
 (3) クラスごとに「目指す授業像」を作成し、児童と授業観を共有する。また、対話を通して学びを深める授業を支える児童の良い発言やつぶやきを価値付けて「言葉の貯金箱」に貯めて学級文化にする。(図3)

活動の成果：  
 「チーム大淵」として、教員・児童が一体となって学びの環境を生み出すことを実感！  
 (1) 学校全体が「大淵学びのスタンダード」の視点で学習環境や学び方を改善することで、一分前着席等が学校文化として定着して、学校全体が落ち着いた。また、学びに参加できる子が増えた。  
 (2) 全教員が同じベクトルで授業づくりに向かうことで、児童の資質・能力を育てようとする風土が生まれた。  
 (3) 児童アンケートで、「対話を通して学びが深まる」とした回答が多かった。(4段階評価で3.54)また、多くの教員が、児童の学び方の良さに目を向けて価値付けるようになった。

アピールポイント(アイデアや工夫)：  
 すべての取組は「学校教育目標」の具現化に向けて！  
 (1) 本校独自の強みとなる学校内外の資源を最大限に活用し、課題解決に向けた取組を行ったこと。  
 (2) 経験を問わず全教員が学習環境づくりや質の高い授業づくりに取り組めるようになったこと。  
 (3) 学校教育目標が目指す児童の姿の具現化に向け、教師が児童の思いや学びの姿を価値付けながら一体となって改善に取り組んでいること。

図1 すべての児童の学びを支える「大淵学びのスタンダード」と「ふっちゃん学び方検定」

The diagram shows the '大淵学びのスタンダード' (Daikawa Learning Standards) and the 'ふっちゃん学び方検定' (Fuchan Learning Method Assessment). The standards are organized into categories like '子どもがわかる!できる!授業づくり!' and '子どもが学びやすい学習環境づくり!'. The assessment is a grid-based tool for evaluating learning methods. A quote from an external lecturer (Shizuoka University) is included, praising the standards and the school's resources.

図2 児童の資質・能力の育成を目指す「おおぶち学びのデザイン」

The diagram illustrates the 'おおぶち学びのデザイン' (Oobuchi Learning Design) process, which focuses on developing children's qualities and abilities through dialogue and reflection. It includes a flowchart from '教員の働きかけ' to '学びの振り返り'. Below it, a '授業参観シート' (Lesson Observation Sheet) is shown, which is used to collect and analyze teaching observations from all teachers.

ワークショップ型の事後研に活用 図3 クラスごとの「目指す授業像」と「言葉の貯金箱」

Two photographs showing classroom activities. The left photo shows a workshop-style post-mortem session with a central poster titled 'おおぶち学びのデザイン' and various handwritten notes and diagrams. The right photo shows a classroom display for '6年2組 めざす授業像' (6th Grade 2nd Class Target Lesson Image), featuring a poster with the slogan '素直な思いを みんなで出し合い 一緒に解決 楽しい授業' and a '言葉の貯金箱' (Language Savings Box) where students share their thoughts and feedback.